

（仮称）大阪市障がい者スポーツアクションプラン （たたき台）

○ 目的

- 障がい者スポーツを通じた共生社会の実現に向けて、理念及び基本方針を設定し、各種障がい者スポーツ振興施策を体系的にまとめ、推進していくことを目的として、同アクションプランを策定する予定

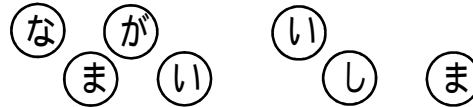
○ アクションプランの構成イメージ

- 理念
- 基本方針
- 具体取組
- 行動計画
- 効果指標 など

(仮称) 大阪市障がい者スポーツ振興アクションプラン (たたき台)

■ 基本理念 (めざす姿)

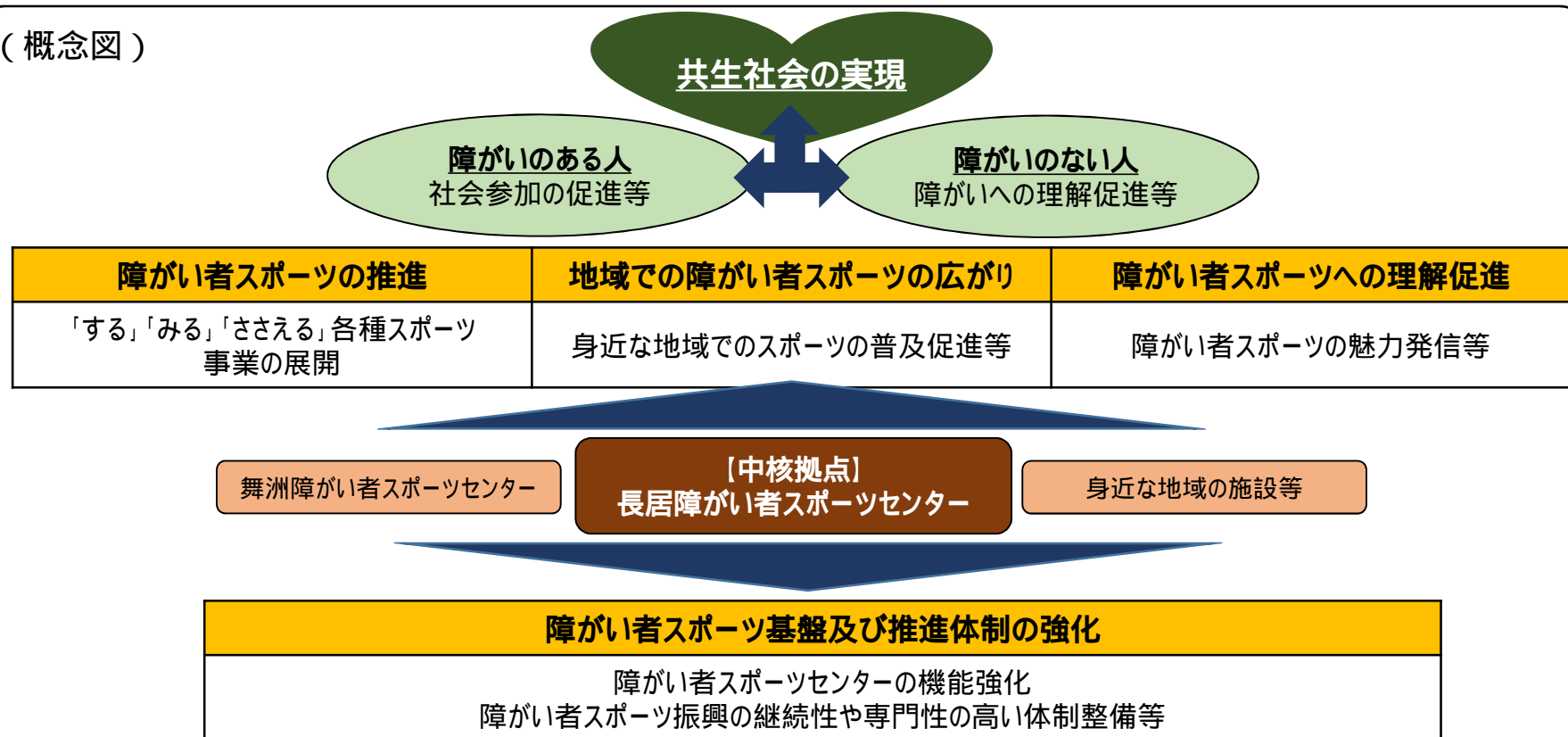
障がい者スポーツを通じた共生社会の実現 ~ なかまが いつも いっしょに まじわえる ~



■ 基本方針

- 1 障がい者スポーツの推進
- 2 地域での障がい者スポーツの広がり
- 3 障がい者スポーツへの理解促進
- 4 障がい者スポーツ基盤及び推進体制の強化

(概念図)



(仮称) 大阪市障がい者スポーツ振興アクションプラン (たたき台)

■ 具体取組 (現行の取組を踏まえ作成したもの)

1 障がい者スポーツの推進

(1) する

- ・ スポーツ教室事業
- ・ スポーツ・レクリエーション交流事業、文化交流事業
- ・ 市障がい者スポーツ大会
- ・ 全国障害者スポーツ大会
- ・ 市障がい者スキー教室

(2) みる

- ・ 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会
- ・ 地域親善交流会

(3) ささえる

- ・ 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成
- ・ 障がい者スポーツ振興事業 (スポーツミーティング等)

2 地域での障がい者スポーツの広がり

(1) 身近な地域でのスポーツの普及促進

- ・ 各区スポーツセンター等との連携及び利用促進
- ・ 地域・障がい者スポーツ振興事業

(2) 自立した障がい者スポーツ団体の育成等

- ・ スポーツクラブの育成・支援事業
- ・ 障がい者団体主催事業への支援

3 障がい者スポーツへの理解促進

(1) 障がい者スポーツの魅力発信

- ・ 障がい者スポーツの広報・情報発信
- ・ 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会 (再掲)

(2) 障がい者スポーツの啓発

- ・ 障がいの理解講座
- ・ 障がい者スポーツの理解のための研修会

4 障がい者スポーツ基盤及び推進体制の強化

(1) 障がい者スポーツセンターの機能強化

ア 長居障がい者スポーツセンター

- ・ 障がい者スポーツの中核拠点としての機能強化

イ 舞洲障がい者スポーツセンター

- ・ ボッチャ競技における「ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設」のほか、競技 (パラ) スポーツの拠点

(2) 障がい者スポーツ振興の継続性や専門性の高い体制整備等

- ・ 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成 (再掲)
- ・ 安心して障がい者スポーツを実施するための相談機能の強化

(3) 国内の障がい者スポーツ関係団体・競技団体等との連携

- ・ (公財)日本障がい者スポーツ協会と全国の障がい者スポーツセンター、市内各区スポーツセンター、地域や各種団体、競技団体等との連携を強化

(仮称) 大阪市障がい者スポーツ振興アクションプラン (たたき台)

■ 行動計画のイメージ

		2020年度	2021年度	2022年度
1 障がい者スポーツの推進				
	スポーツ教室事業	各種教室の開催	各種教室の開催	検証を踏まえ判断
			
2 地域での障がい者スポーツの広がり				
			
3 障がい者スポーツへの理解促進				
			
4 障がい者スポーツ基盤及び推進体制の強化				
			

(仮称) 大阪市障がい者スポーツ振興アクションプラン (たたき台)

■ 計画期間

令和2年度(2020年度)から令和3年度(2021年度)の2年間?
2022年度からは、大阪市スポーツ振興計画と一本化?

■ 効果指標

項目		現状	目標
目 標	スポーツ実施率		
	本アクションプラン		
	(参考)市：スポーツ振興計画	成人 週1回以上65% (H30市政モニターアンケート調査)	成人 週1回以上65%
	(参考)国：第2期スポーツ基本計画	成人 週1回以上42.5% 障がい者 週1回以上19.2%	成人 週1回以上65%程度 障がい者 週1回以上40%程度
個別指標 の例示	パラリンピック以外の障がい者スポーツの直接観戦経験者の割合	国：3.8% 市：不明	
	障がい者スポーツへのボランティア等の参加者数		
	障がいのある人とない人が一緒に行うスポーツを経験した人数		
	市内障がい者スポーツセンター利用者数	長居：34万5千人 舞洲：25万7千人 H30年度延べ利用者数	
	市障がい者スポーツ大会参加者数	450人 R元年度(第19回)の延べ参加者数	
	国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会の観戦者数	12,634人 H31年2月の大会延べ観戦者数	
	各区スポーツセンターにおける障がい者の利用者数	トレーニング室：103,723人 プール：214,649人 H29年度延べ利用者数	